

寒河江国道区画線工事

～道路の線や文字を書きます～



事故防止等のために道路に標示してある文字や線など、薄くなっているところをキレイに塗装し直す区画線工事を行いました。

作業の様子をご紹介します。

ラインマーカー車



路面標示（区画線）の必要性



外側線を引いています

路面標示は、道路標識や交通信号機等とともに、道路交通に対し必要な案内、誘導、警戒、規制、指示等について一定の様式化された線及び文字、記号を路面に表示するものです。

これにより交通の流れを円滑に誘導して、安全を確保し、併せて道路構造物等の保全を図ることを目的とし、警察の意見も参考にしながら作業を実施しています。



中央線を引いています



塗料の吹出口を操作しています！
ライン幅の調節や、塗料を出したり
止めたりしています。

ドラム缶内の塗料を
手前のポンプ装置に
送り出す操作をしています

続いて文字を書く作業をご紹介します！

工事前



文字が薄くなり、読めなくなっています

薄くなる原因は…

- ・日常通行する車のタイヤでの摩耗
- ・冬期間の除雪グレーダで削れてしまう



除雪グレーダ

『追突注意』と書かれていたのですが、分からない状態です。

①文字の枠線を引いていきます



※ガムテープを貼ることでその部分にペンキが付かなくなるので、文字の端がまっすぐ整います



チョークラインというものです。紐に石灰がついており、この紐をピンと張りはじき、ペイントする範囲の外枠に印をつけます。紐を張ることでまっすぐな線が書けます。

②ペンキを手押しラインマーカースーツに投入します



ニーダー車

ペンキが積んであります

手押しラインマーカースーツ

投入

ニーダー車
今回の作業で使用するペンキは、冷めると固まってしまうので、作業時までニーダー車の中で暖められています。

手押しラインマーカースーツ
手押しラインマーカースーツにもガスボンベが付いており、常にペンキを温めながら文字や線を書いていきます。

③文字を書いています



塗装する部分に接着剤を塗ります



●手押しラインマーカースーツ●



ここからペンキが出ます！

まっすぐ丁寧に書いていきます。ペンキは5分くらいで乾きます。



完成しました！

塗装は一度書いたら約2年持ちます。

縦長になっていきますが、走っている車から見るとちゃんと見えます。交通事故が起きないことを願います。



大平企業 (株)
工藤さん
(現場代理人)

工事期間の際は、さくらんぼシーズンということもあり、通行される皆様にはご迷惑をお掛けする点多々あったと思いますが、皆様のご理解・ご協力により無事故無災害で工事を完了することが出来たことを感謝いたします。ありがとうございました。

普段運転しているときは区画線を気に留めることがなかったのですが、自分たちで工事を行ったことによりこれからの運転での意識が変わりました。皆様には区画線工事後の道路を安全運転で走行してもらいたいです。

大平企業 (株)
吉田さん
(若手社員)

国道112号、月山道路に関するご意見・ご質問など、お気軽にご連絡ください！

～明日をひらく 人とともに 地域とともに～



国土交通省
山形河川国道事務所 寒河江国道維持出張所
(住所) 〒991-0003 寒河江市大字西根字下川原58-1
(TEL) 0237-84-3191 (FAX) 0237-84-3687

【寒河江国道維持出張所ホームページ】

<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syucho/sagaeiji/>

国土交通省 山形県内情報サイト
(幹線国道ライブカメラなど)

<http://keitai.thr.mlit.go.jp/yamagata/>



道路の異状を発見したら #から始まるこの番号へ
道路緊急ダイヤル #9910
全国共通24時間受付無料